

大阪ガスグループ 長期経営ビジョン・中期経営計画 「Field of Dreams 2020」

平成 21 年 3 月 13 日
大阪ガス株式会社

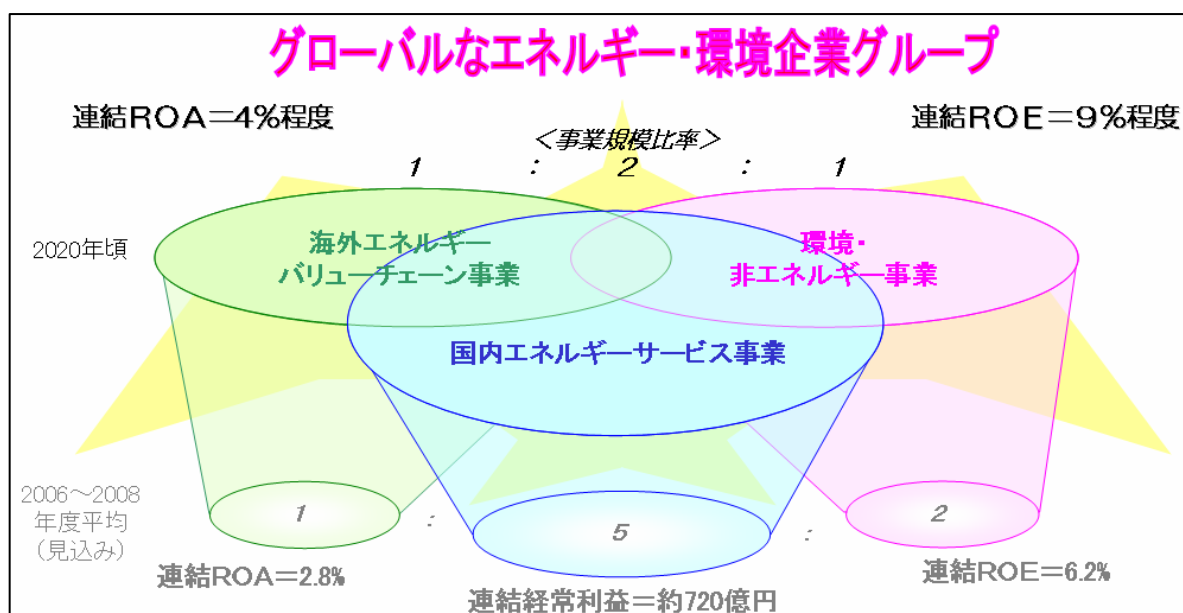
大阪ガス株式会社（社長：尾崎 裕）は、このたび、長期的な視点でグループの事業構造の変革にチャレンジしていくため、2020（平成 32）年を見据えた長期経営ビジョン、および、そのビジョンを実現するための 2009（平成 21）年度から 2013（平成 25）年度までの 5 カ年を対象とする中期経営計画である「Field of Dreams 2020」を策定しました。

1. 大阪ガスグループの決意

当社グループは、天然ガスを中心としたエネルギー事業を通じて 100 年を超えて培ってきた多彩で豊富な事業基盤、人材、技術、ノウハウを活かしながら、お客さまと時代が求める先進的な価値の創造に向けて絶えざる挑戦を続け、環境にやさしい快適な暮らしとビジネスソリューションを提供し、国内外のフィールドで持続的に発展・成長し続けます。

2. 大阪ガスグループが目指す 2020 年のあり姿

全てのステークホルダーから選ばれ続ける質の高い経営を実践し、2020 年には、「国内エネルギーサービス事業」「海外エネルギーバリューチェーン事業」「環境・非エネルギー事業」の 3 つの事業領域を柱に、グローバルなエネルギー・環境企業グループとして力強く発展することを目指します。

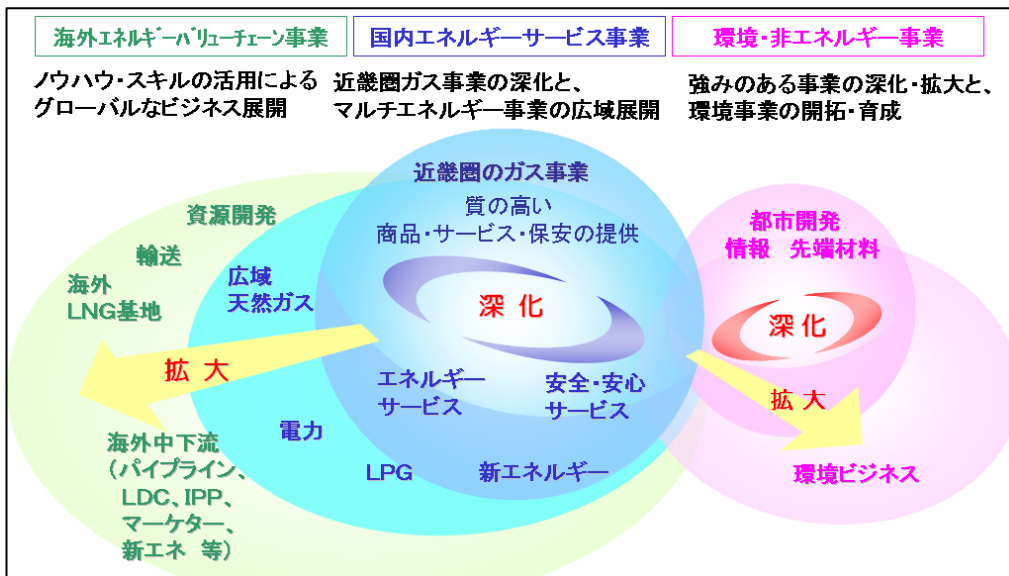


3. 2020年のあり姿を実現するための取り組み

グローバルなエネルギー・環境企業グループとして力強く発展するために、「ビジネスフィールドの拡大」と「強靱な事業構造の確立」に取り組んでいきます。

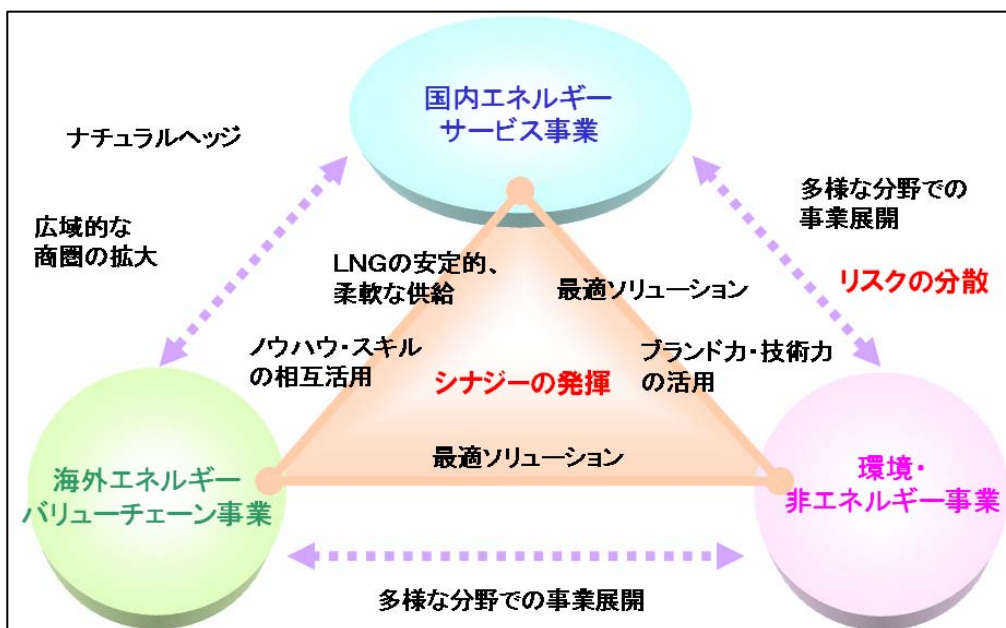
(1) ビジネスフィールドの拡大

「既存事業の深化」と「新規事業分野・拠点の拡大」により、事業の厚みと広がり
の双方にビジネスフィールドを拡大していきます。ビジネスフィールド拡大のため
2009年度から2020年度の12年間で総額1.5兆円の投資を進め、当社グループ全体
が、力強く発展していくことを目指します。



(2) 強靱な事業構造の確立

「国内エネルギーサービス事業」「海外エネルギーバリューチェーン事業」「環境・非エネルギー事業」の3つの事業領域間のシナジー発揮を追求し、各事業を成長させることで、リスクの分散を図り、グループ総合力を最大化して、強靱な事業構造を確立していきます。



4. 長期経営目標

長期経営目標としては、以下の項目を掲げます。

項目	目標水準
(1) 事業領域の拡大	積極的な成長投資を進め、「国内エネルギーサービス事業」、「海外エネルギーバリューチェーン事業」、「環境・非エネルギー事業」の3つの事業領域の柱を確立。 [2013年度頃には、近畿圏のガス事業の利益と、それ以外の事業の利益を同等規模にすることを目指す。]
(2) 環境への貢献	環境性に優れた天然ガスの普及拡大と、燃料電池やコージェネレーションをはじめとする高効率機器・システムのご提案、省エネルギー提案、再生可能エネルギー等の環境事業への取り組み等により、地球環境負荷の低減に積極的に貢献。
(3) 企業品質・事業品質の向上	社会からの期待の高まり（取り組み水準、情報開示）に十二分に答え、暮らしとビジネス、社会に貢献する優良企業として高い水準のCSRを目指す。
(4) 企業価値の向上	
① 資産効率、資本効率の向上	長期的に連結ROA4%程度、連結ROE9%程度を目指して、継続的に利益率向上に取り組む。 [2013年度には連結ROA3.5%程度、連結ROE8%程度を目指す。]
② 株主還元	安定配当の継続を基本に据えながら、業績、今後の経営計画等を踏まえ、他の利益還元策等を総合的に勘案して決定。 配当性向は、大阪ガス個別の剰余金分配可能額の範囲内で、短期的な利益変動要因を除いて連結配当性向30%以上を目指す。 (成長のための事業投資を実施したうえで、財務状況やキャッシュフローに余裕がある場合には、機動的に自己株式取得も実施。)
③ 財務健全性の維持	定量的なリスク量管理を行っていくとともに 「自己資本比率40%以上」、「D（有利子負債）/E（自己資本）比率1程度」を中長期的に維持。

※ROA＝当期純利益÷総資産、ROE＝当期純利益÷自己資本

当社グループは、国内外の様々なフィールドでチャレンジを続け、従業員とともに成長し、本ビジョン・計画の実現を通じて、地球環境や、お客さまの快適な暮らしとビジネスの発展に貢献していきます。

以上

※「大阪ガスグループ 長期経営ビジョン・中期経営計画 Field of Dreams 2020」の詳細は添付資料をご覧ください。